

決算説明会資料

2023年9月期 第2四半期

アクセルマーク株式会社（東証グロース:3624）
2023年5月11日



目次

- 1 2023年9月期 2Q業績概要**
- 2 各事業の状況
- 3 2023年9月期 業績予想
- 4 今後の方針 & 見通しについて

1 2023年9月期 2Qサマリー

売上高

518 百万円
(前四半期：601百万円)

営業利益

▲24 百万円
(前四半期：▲0百万円)

当期純利益

▲22 百万円
(前四半期：▲0百万円)

□ 事業概況

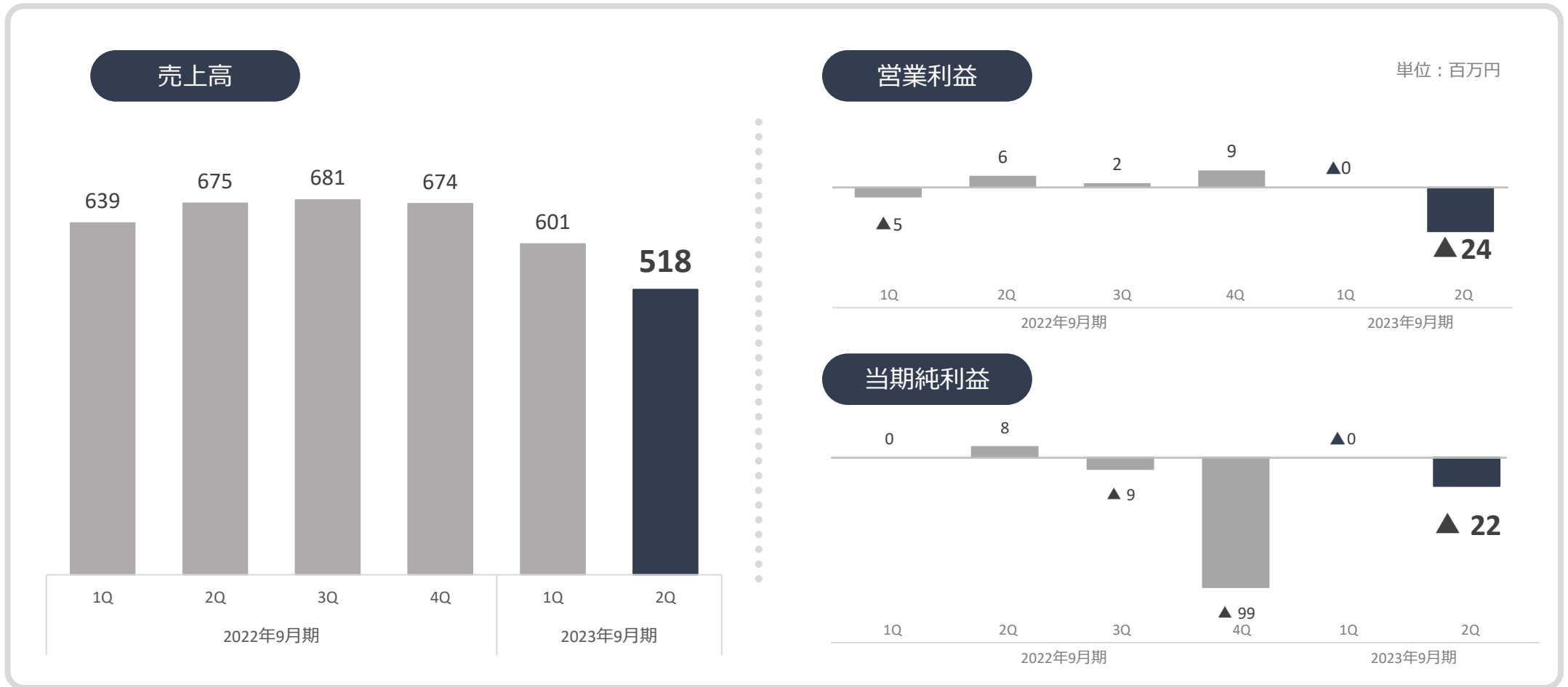
- ・第2四半期より、AIを活用した新たな広告プラットフォームの開発が本格化。
- ・ブロックチェーン関連事業は、「トレサカ」リーグ」の正式版を1月26日に配信開始。本ゲームの最大の特徴であるNFT化機能についても2月15日に実装済み。

□ 全社概況

- ・2月28日を効力発生日として、資本金の額の減少及び剰余金の処分を実行。

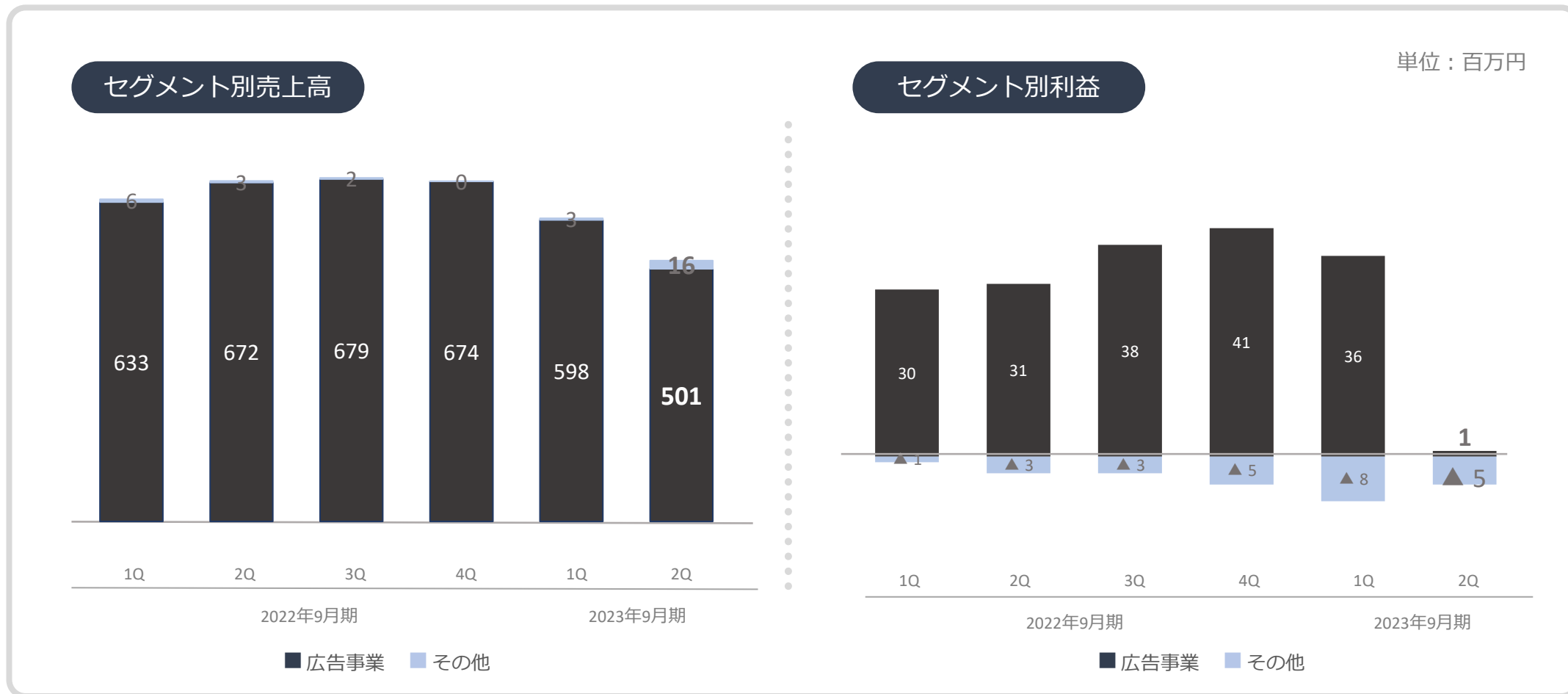
1 業績の四半期推移

当事業年度は中長期的な事業成長のための投資期と捉えており、
 広告事業の新しい広告プラットフォームの開発による先行投資が発生



1 セグメント別の四半期推移

広告事業において、昨年までのコロナ特需の反動による影響が一部取引先にて発生
 第2四半期より、その他事業において、トレサカリーグの正式版リリースによる売上計上開始



1 損益計算書四半期推移

第2四半期より、広告事業のシステム開発が本格化しているが、業績は予想の範囲内で推移

単位：百万円

	前期		当期	当期	QonQ 差異
	3Q	4Q	1Q	2Q	
売上高	681	674	601	518	▲83
売上原価	600	590	523	467	▲56
売上総利益	81	84	77	50	▲27
販売費及び一般管理費	78	75	78	75	▲3
営業利益	2	9	▲0	▲24	▲24
営業外収益	0	3	0	5	+5
営業外費用	14	1	2	3	+1
経常利益	▲10	11	▲1	▲23	▲22
特別利益	1	1	1	1	-
特別損失	-	109	-	-	-
税引前当期純利益	▲9	▲96	▲0	▲22	▲22
法人税等	0	3	0	0	-
当期純利益	▲9	▲99	▲0	▲22	▲22

1 貸借対照表概要

広告事業のシステム開発投資が本格化し、無形固定資産が増加、引き続き財務の健全性は維持

単位：百万円

	2022年 9月期 4Q末	2023年 9月期 2Q末
流動資産	1,476	1,372
現金及び預金	1,240	1,151
売掛金	198	189
その他	37	32
固定資産	84	122
有形固定資産	13	12
無形固定資産	1	50
投資その他の資産	69	59
資産合計	1,560	1,494
自己資本比率	59.5%	61.6%

	2022年 9月期 4Q末	2023年 9月期 2Q末
流動負債	246	210
買掛金	175	169
その他	71	40
固定負債	378	356
転換社債型新株予約権付社債	378	356
負債合計	625	567
資本金等	1,025	946
利益剰余金	▲100	▲23
新株予約権	5	5
その他	4	▲2
純資産等合計	935	927
負債・純資産等合計	1,560	1,494

目次

- 1 2023年9月期 2Q業績概要
- 2 各事業の状況**
- 3 2023年9月期 業績予想
- 4 今後の方針 & 見通しについて

2 2023年9月期 各事業の取り組み

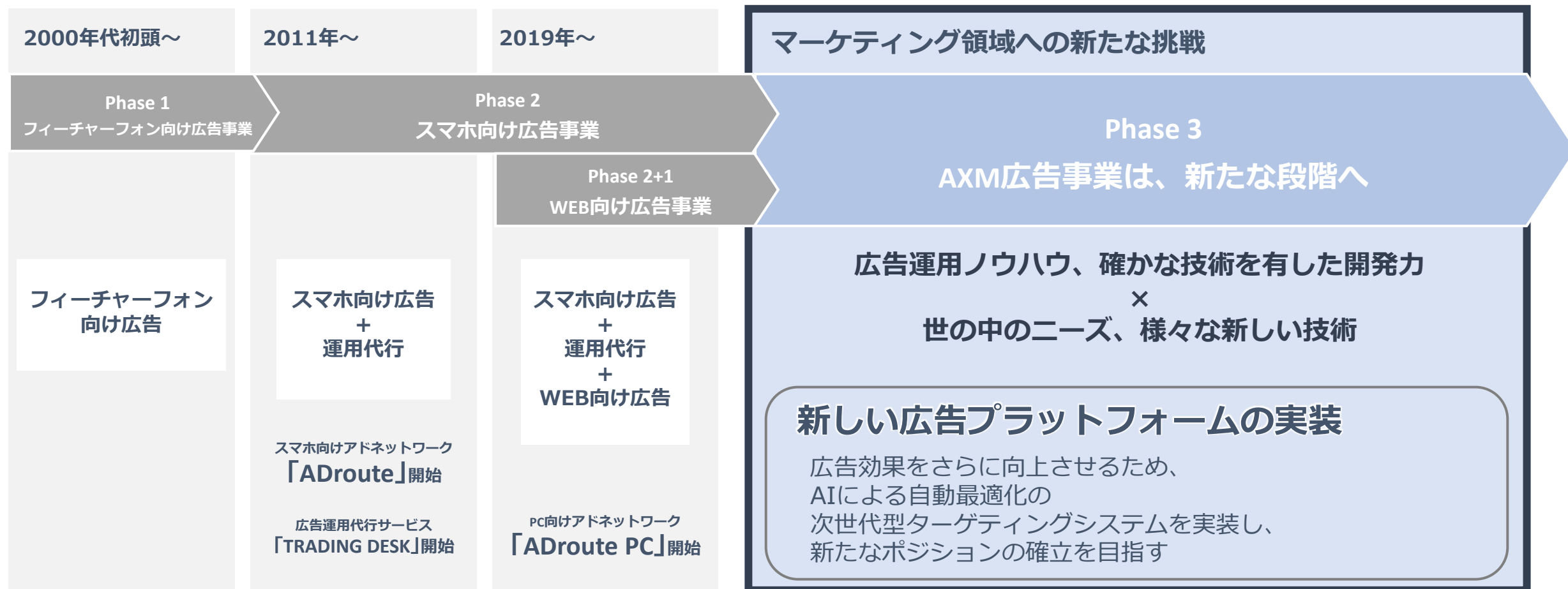
広告事業

その他事業
ブロックチェーン
関連事業

その他事業
IoTヘルスケア事業

2 広告事業 今までの経緯～今後

2000年代初頭にフィーチャーフォン向け広告を対象とした事業に参入、時代やクライアントのニーズを汲み取り、既存のノウハウと様々な技術をかけあわせて事業拡大を推進



2 当社の目指す広告事業の方向性

『デジタル領域におけるイノベーションの推進』

デジタル領域に常にアンテナを張り、革新的なサービスを提供し続ける



● AI(人工知能)技術の活用

- ・次世代型ターゲティングシステムを搭載したエンジンの開発
- ・自社開発のAIや、OpenAI等に代表される「生成系AI」を活用した精度の高い広告配信システムの開発

● ブロックチェーン領域 × 広告

- ・ブロックチェーン領域での広告配信
- ・ブロックチェーン技術を活用した透明性の高い広告配信システムの検討

広告運用ノウハウ & 確かな技術を有した開発力

AI技術を活用し、より高精度なターゲティング広告の提供。

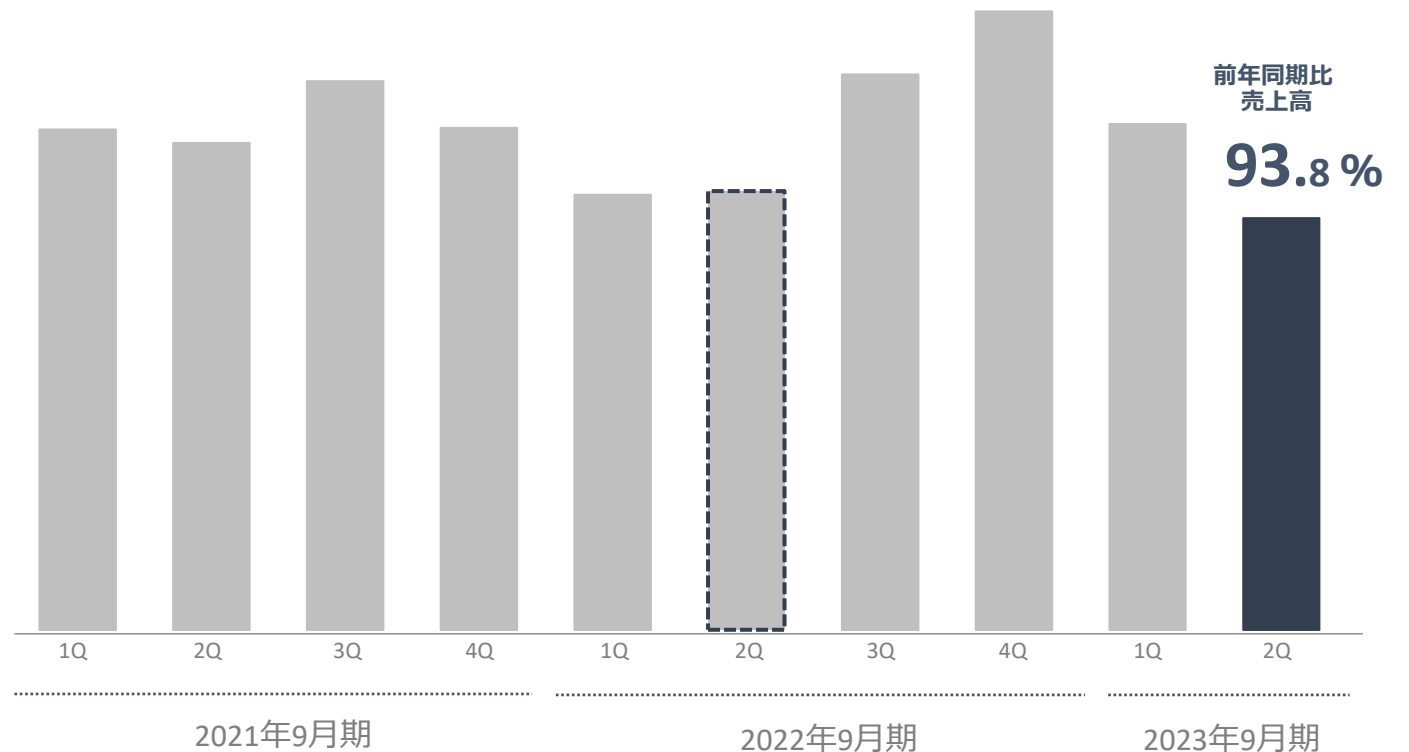
ユーザーのプライバシー保護に配慮した広告配信システムを構築、かつ、透明性の高い広告配信を実現。

2 「アドネットワーク」 サービス状況

昨年までのコロナ禍による巣ごもり需要も一段落し、
 コロナ特需の反動による一部取引先の予算減少などありつつも、堅調に推移

アドネットワーク

- **ADroute**
- 良質な広告をお届けする
 月間200億impを超える
 アドネットワークサービス



2 広告事業 「ADroute」 サービス拡大戦略

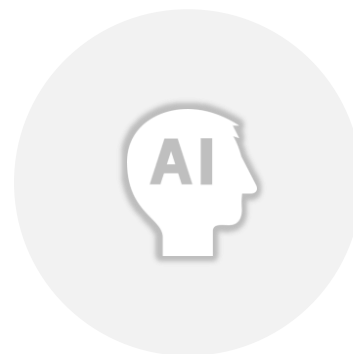
サービス拡大に向けて、既存 / 新規クライアント向けの機能拡充を順次実施

新広告メニュー



新動画広告メニューを
リリース

配信ロジック開発



AI/データを活用した
配信ロジック開発

Cookie規制対応



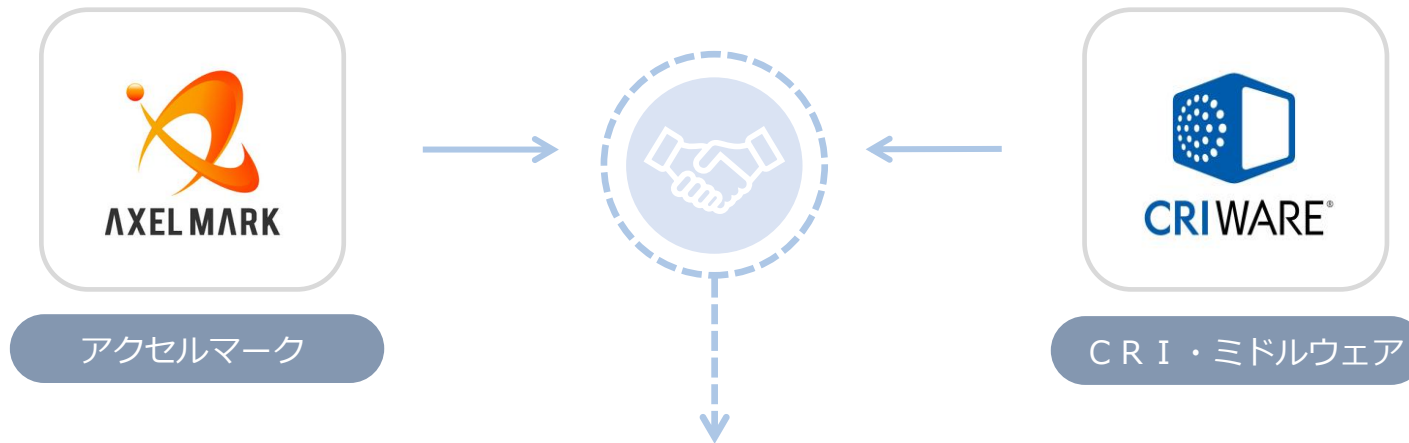
Cookie規制※に対応した
ターゲティング手法の
更なるアップデート

※サイトに訪れたユーザーの情報を一時的に
ユーザーのブラウザに保存する仕組み

2 広告事業 動画広告メニュー「QuickStreamAd」の提供開始



当社は動画広告の需要が拡大するなか、UX(ユーザー体験)を向上させた、動画広告メニュー「QuickStreamAd」の提供開始



当社の適切な圧縮効率に変換する技術を活用することにより、
UX(ユーザー体験)の向上、かつ広告効果の向上を実現する動画広告配信に成功
また、株式会社CRI・ミドルウェアとの技術連携（CRI DietCoder®の活用等）
により、さらなるサービス向上を実現

※UX(ユーザー体験)・・・サービス等を通じて利用者が得る体験および印象のこと

2 「デジタルマーケティング」領域 サービス状況

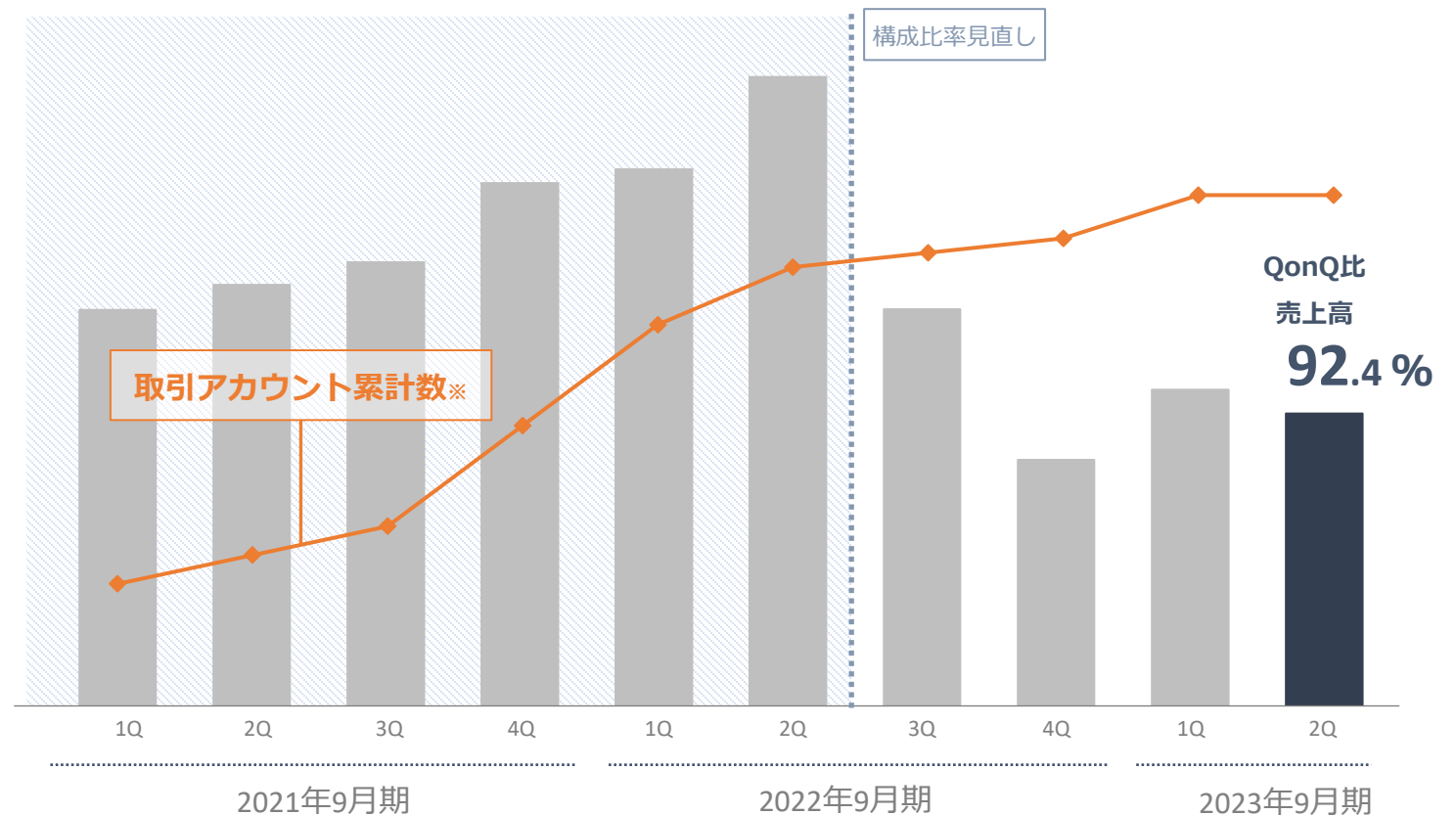
当社債権管理の健全化を図るため既存取引先の構成比率見直しを実施、
今後の事業拡大のため、組織体制の強化およびサービスメニューの開発を実施

デジタルマーケティング領域

● TRADING DESK

広告運用代行

中小事業者に特化した
eコマース販売促進サービス



2 広告事業 「デジタルマーケティング」 サービス拡大戦略



デジタルマーケティング領域のニーズの高まりに対応したサービス拡充

2022年9月組成

Google 広告専門チームを組成

メンバーが保有するGoogle 広告認定資格



ショッピング広告



動画広告



ディスプレイ広告



検索広告



測定



アプリ広告

BtoC向けメーカー企業に対し、Google 広告に精通したコンサルタントが戦略立案から実行まで行う。高機能で日々アップデートの頻度も高いGoogle広告プロダクトの課題である学習コストの高さを解決し、クライアント企業のビジネス成長に貢献。

2022年12月開始

YouTube 広告特化の運用型制作サービスを提供

低単価で制作



ABCD
フレームワーク



広告運用まで
サポート



2023年2月2日YouTubeショート対応！

ノウハウを生かした独自開発のテンプレートにより、広告クリエイティブを素早く安価に複数制作し、動画制作/配信/効果検証のサイクルを素早く回すことが可能に。短期間で動画広告の効果を追求したい広告主のニーズに応える。2023年2月1日に開始したYouTubeショートの収益化にもいち早く対応。

2 2023年9月期 各事業の取り組み

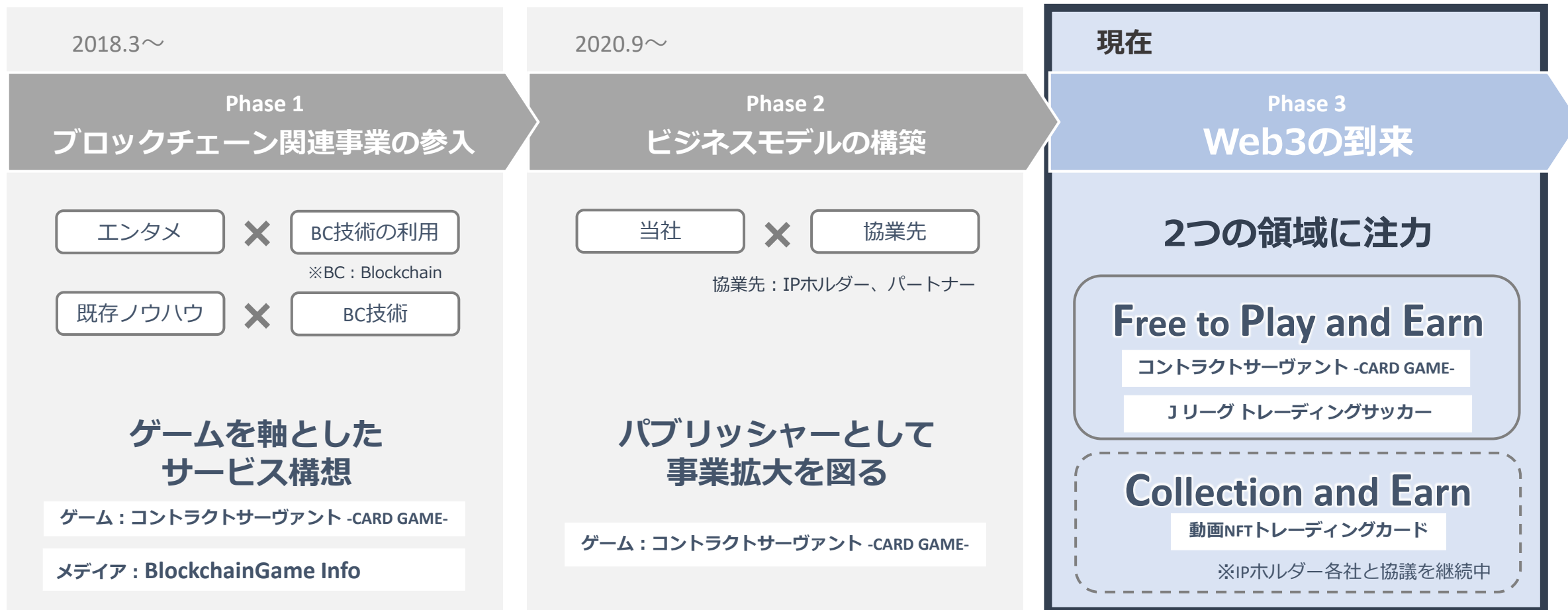
広告事業

その他事業
ブロックチェーン
関連事業

その他事業
IoTヘルスケア事業

2 ブロックチェーン関連事業 今までの経緯～今後

Free to Play and Earnのブロックチェーンゲームとして、
トレサカ Jリーグの成長に注力していく



2 当社の目指すブロックチェーンゲームの方向性

Free to Play and Earn (無料で始めて、楽しみながら稼ぐ)



2 「Jリーグ トレーディングサッカー」(略称：トレサカ Jリーグ)



国内初NFTを活用したJリーグオフィシャルライセンスゲーム「トレサカ Jリーグ」の最大の特徴であるNFT化機能を、2月15日より実装



LINE NFTゲームカテゴリ取引量No.1!

(2023年4月25日時点)

LINE NFTでの二次流通件数が1000件を突破、「Free to Play and Earn (無料ではじめて楽しみながら稼ぐ)」の体験が拡大中。

4月27日より、新シリーズ「2023 1st SERIES」の選手カードが登場
今後もNFT選手の売買が拡大する見込み

※株式会社OneSportsが公益社団法人日本プロサッカーリーグより商品化ライセンス許諾を受け商品企画していましたが、2023年シーズン以降の公益社団法人日本プロサッカーリーグとのIPに係るライセンス契約主体が、株式会社OneSportsから株式会社プレイシंकに変更となりました。

※本サービスの提供に際しては、株式会社プレイシंकが公益社団法人日本プロサッカーリーグとのライセンス契約及び開発・運営を、アクセルマーク株式会社がパブリッシングを担当しております。

2 2023年9月期 各事業の取り組み

広告事業

その他事業
ブロックチェーン
関連事業

その他事業
IoTヘルスケア事業

2 IoTヘルスケア事業 取り組み内容

積雪深自動モニタリングシステム YUKIMI

積雪深計測センサーとデータ閲覧システムが
一体になったモニタリングシステム



今シーズンにおいても、
複数自治体にてサービス導入、計測を実施。
来シーズンに向けて、既存自治体の実績をもとに、
営業強化。複数の自治体より引き合いを受け提案中。

Ascella Real Time System

COVID-19及び変異株を含む、インフルエンザ等の
様々な感染症に対しても対応可能な簡易検査機器



引き続きFDA申請に必要なデータを収集中。
データが揃い次第、EUA(緊急使用許可)の取得を目指す。
また、「Ascella Real Time System」の感染症検査キットとしての
コスト面、測定機能面の優位性により、引き続き、様々な
可能性を検討中。

目次

- 1 2023年9月期 2Q業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2023年9月期 業績予想**
- 4 今後の方針 & 見通しについて

3 2023年9月期 業績予想の進捗

単位：百万円

	2022年9月期 通期 実績	2023年9月期 2Q累計 実績	2023年9月期 通期 予想	
			上限	下限
売上高	2,671	1,119	3,000	2,500
営業利益	13	▲25	▲51	▲203
経常利益	10	▲25	▲49	▲202
当期純利益	▲100	▲23	▲52	▲204

※中長期的な事業成長のための大規模投資として、最大約3億円の投資を計画に見込んでおります。

目次

- 1 2023年9月期 2Q業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2023年9月期 業績予想
- 4 今後の方針&見通しについて**

全社

中長期の事業拡大のための投資期と捉え、
「事業規模の拡大への投資」と「人材・働く環境への投資」を実行

既存事業

● 広告事業

引き続き収益事業として、事業拡大を推進。
また、マーケティング領域のプロダクト、
ソリューション等のサービス拡張を
させていくため、
「AIを活用した新しい広告プラットフォームの実装」
を目指し投資を実行。

新規事業

● BC関連事業

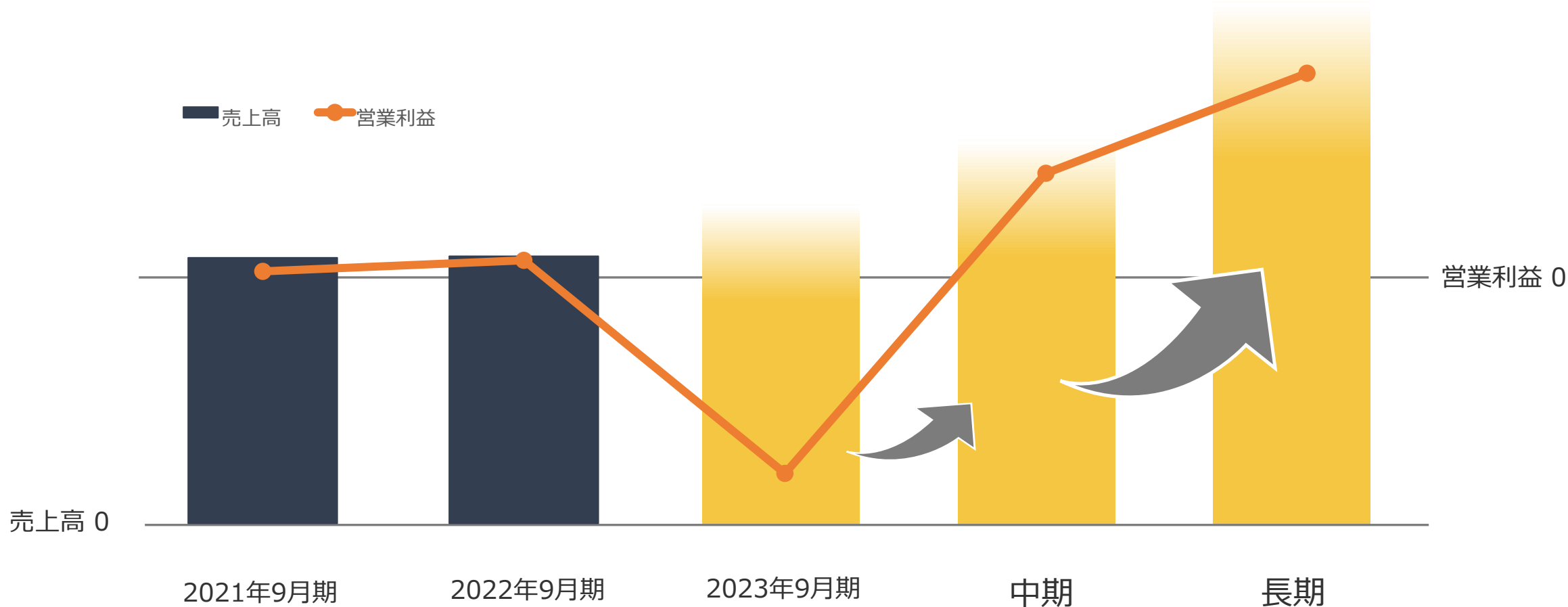
「トレサカ Jリーグ」のサービス拡大を図る。
また、ブロックチェーン/NFTを活用した
プロジェクトへの出資等、
他社とのアライアンス展開を実施。

● IoTヘルスケア事業

Ascella社との取り組みに注力して、
引き続きヘルスケア × IoT市場
の新規事業開発を目指す。

4 今後の見通しについて

2024年9月期上期まで投資を予定、中長期での事業成長・拡大を見込む
 売上規模の拡大とともに、利益率向上を経営課題として取り組み、
 将来的に強固な利益体質を構築していく



「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>